



2020

- J A 通常総会
- 農協の出来事
- 青年部活動
- 女性部活動
- レディースファームスクール紹介
- J A NEWS FLASH
- お知らせ

8

No.278

JA新得町第90回通常総会



5月22日、新得町農業協同組合、第90回 好天に恵まれて良いサイレージが調整でき
通常総会が新得町農業協同組合集会所におたのではないかと思います。

本年は新型コロナウイルス感染拡大防止
の為、議決権行使書面による議決を基本と
する開催となり、正組合員150名のうち、
145名の出席（議決権行使書面133名、
本人出席12名）のもと、議案1号から議
案7号までが提出され、賛成多数で可決承
認されました。

JA綱領朗唱後、太田組合長は「昨今の
新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、予
防と安全を最優先に考えて書面議決、短時
間の総会にさせていただきます。何卒ご理
解をいただきたいと思います。」

さて、昨年を振り返りますと、春から記
録的に少ない降水量であり、土壌凍結が深
く入り、春作業は若干遅れました。干ばつ
傾向は6月上旬まで続き、大変心配した
ところでありまして、全道的にはてん菜で
大きな被害を受けたわけでありまして。

しかしながら6月の中旬から降水量も適
度にあり、そして気温も高かったというこ
とから作物は順調に生育していきまして。
しかし、7月の中旬からの長雨と日照不足
8月の異常な高温、中旬の低温、昨年前半
は異常気象に翻弄された年でもあったか
と思います。

しかし、それからは順調に好天に恵まれ、
秋の収穫作業まで無事に終了いたしました。
終わってみれば全ての作物が例年並みかそ
れ以上の収量がありました。また飼料作物
も干ばつの影響を受けましたが収穫時期の

農畜産物全体を合わせた販売金額は前年

対比で101.1%増の193億2千万円
の販売高となりました。このような異常気
象の中、生産者の皆様には大変頑張ってい
ただき、心から敬意を表したいと思います。

今年には第8次農業振興計画のスタートの
年でもあります。昨年組合員の多くの皆さ
んからアンケートをいただき、そして青年
部・女性部、酪農振興会・畑作振興会など
の生産組織の皆さんからの意見を取り入れ
て、今後五ヶ年、新得町農協の方向性を決

める農業政策を策定させていただきました。
中身をみますとこれから少子高齢化そして
農家戸数が減少する中で、皆さんのご期待
はやはり、援農支援に対する希望が多いよ
うに思えました。

昨今新型コロナウイルスの影響が農業に対し
てまだ大きくはでていませんけれど、これ
から徐々に影響がでてくるかと思っています。
また社会的にも経済的にも大きく世界が
変わるのではないかと思います。私たち農協
組織もしっかりと対策していきたいと思っ
ます。このコロナ禍でも農業は順調に進ん
でおります。今年も一年間、農作業事故な

く、また豊穡の秋を迎えられますことを、
心からご祈念申し上げます。」と開会挨拶
を述べました。



表彰状授与の様子

日本農業新聞 会長賞受賞！

JA新得町は、令和2年度日本農業新聞会長賞（長期普及優秀JA）を受賞しました。

日本農業新聞では毎年5月に全国大会を開催し、「1年間、日本農業新聞の普及に貢献したJA」などを表彰しています。JA新得町は3年連続で3%以上の増部実績を達成したとし、長期普及優績JAとして表彰されました。

今年は、新型コロナウイルスによる影響で、全国大会と表彰式が中止となり、日本農業新聞の新井北海道支所長と岡田次長が来組され、表彰状と目録が太田組合長に授与されました。



廃プラスチック回収

6月4日、5日に今年1回目となる農業用廃プラスチック回収が農業センターで行われました。

毎年行われているこの取り組みは環境への負担軽減、資源の有効活用のためのリサイクル処理推進・産業廃棄物の適正処理を目的としており、当日は青年部と役場の担当者が回収作業に立会い、80tを回収しました。次回は11月を予定しております。引き続きご協力よろしく申し上げます。



新得町家畜祭

新得町家畜祭実行委員会（高野淳会長）

は、7月22日に町内にある畜魂碑前にてJA新得町太田眞弘組合長をはじめ関係者が参加し、慰霊祭が執り行われました。

この家畜祭は、新得町の家畜の改良と増産意欲を高め、畜産経営の安定に寄与することを目的に今年で48回目を数えます。

例年、慰霊祭の後に懇親会を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、慰霊祭のみ実施致しました。



屈足南小学校農作業体験

6月2日、青年部は食育事業の一環として屈足南小学校にて、2年生8名を対象に農作業体験を行いました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、ナスやトマト、スイートコーンなど野菜の植え付けをいたしました。

2年生の児童たちは昨年も農作業体験を行っており、昨年よりは慣れた手つきで作業を行っていました。

青年部はこうした食育事業に特に力を入れております。秋には新得町産にこだわった「Sランチ」を今年も提供予定であり、子供たちに食と農の魅力をさらに発信し続けます！

7月11日、青年部は毎年恒例となっているレディースファームスクール生との交流会を行いました。

今年も例年同様、岩松にあるTOMさんにお世話になり、ラフティングを楽しみました。

夕方にはレディースファームスクールの焼肉ハウスへ場所を移して、焼肉に舌鼓を打っていました。

LFS・青年部交流会



台風の目の中は？

気象予報士（株式会社ハレックス）
● 檜山靖洋

台風シーズン真っただ中です。台風への備えをあらためて確認しておきましょう。さて、台風の目に入ったことはあるでしょうか？

そもそもなぜ台風の目ができるのかというと、台風は中心に向かって反時計回りに強い風が吹き込みます。速度の速い乗り物がカーブに差し掛かると、体が外に引く張られる遠心力が働きます。台風も同じように、風が強まると外側に引く張られる力も強まり、中心に風が吹き込めなくなります。風が吹き込めなくなつた部分が台風の目です。台風の目の中では風が弱く晴れることもあります。台風の勢力が強いほど、目ははっきりします。

台風の目に入ってみたいと一度は思ったことがあるかもしれませんが、台風の目の中は穏やかでも、その前後にはものすごい暴風が吹き荒れることになります。



収穫風景

1番牧草収穫

人参収穫



上佐幌地区 TMRセンター



屈足地区 村田農場

小麦収穫



屈足ユートピア地区 重盛農場



屈足地区 平農場

女性部



女性部・よつ葉研修交流会

家でもできる簡単ストレッチ



ストレッチポールとマットを使い、農家なら誰しもがもつ体の痛みや悩みを改善するストレッチを教えてくださいました。

終盤では部員と会員の質問にも答えていただき、とても充実した会となりました。

7月6日、女性部は「家でもできる簡単ストレッチ」と題しフレッシュよつ葉会と合同で研修交流会を開催いたしました。

研修交流会はなごみ2階リフレッシュルームの先生を講師に迎え、なごみの多目的ホールにて行われました。



同日、よつ葉会の役員会・女性部の役員会も行いました。

さまざまな意見を交換し、【今後の農協】に対する考えも議論いたしました。



屋食は、町内で出張してお寿司を握ってくださいました。

【極楽寿司】さんをお呼びし、談笑を交えながら楽しい時間を過ごしました。

お寿司を握ってくださいました桑添さんは、お寿司を握りながら魚や貝について、沢山のお話を聞かせてくださいました。

未来を拓く協同組合 SDGsとJA

監修＝JCA（日本協同組合連携機構）



つくる責任 つかう責任

世界の人々は大量の資源やエネルギーを使って多くのものを生産し、大量に消費して暮らしています。このような暮らしは、地球に大きな負担をかけることになります。SDGs（エスディーゼーズ、持続可能な開発目標）で掲げる17項目のうち目標12「つくる責任 つかう責任」では「持続可能な生産消費形態を確保する」ことを目指しています。

JAグループは「つくる責任」を果たすために、食の安全を確保し、高品質な農畜産物や加工品の安定供給に取り組んでいます。環境保全や農業現場で働く人の労働安全のためにも、生産履歴記帳の徹底や、農業生産工程管理（GAP）の推進をしています。また消費面では、日本で年間約612万トンある食品ロス（2017年度）の削減に向け、都市住民向けにマルシェ等を開いて規格外品の農産物を販売する他、各地のJA直売所等でも規格外品を販売したり食堂で活用したりしています。

12 持続可能な消費

SDGsに関連する主な取り組み

JGAP取得でルール共有化（福島）

JA会津よつばの南郷トマト生産組合は2019年9月、31農場でJGAP※団体認証を取得しました。40年以上年間2000トン超の生産量を維持している「南郷トマト」を守るとともに、ベテラン農業者と新規就農者間の栽培から出荷までのルールの共有化等を目的としています。

※JGAP＝日本版農業生産工程管理



JA全中「JAグループの活動報告書2019」をもとに作成

注目のことば「エシカル消費」

「つくる責任 つかう責任」のテーマに沿った概念として、人や社会・環境に配慮した消費行動「エシカル消費（倫理的な消費）」があります。消費者がものを買うときにそれが作られる背景をしっかりと考える消費行動です。地産地消により地域活性化を促すことや、被災地の特産品を消費して経済復興を応援することもエシカル消費の一つです。近年、生協グループでも「つかう責任」としてエシカル消費の取り組みが進んでいます。



耕そう、大地と地域のみらい。

レディースファームスクール入校式

令和2年度 レディースファームスクール入校式



①氏名 ②出身地 ③趣味・特技 ④農業実習の感想 ⑤新得町の印象について

①中村七々花（なかむら ななか）

②静岡県

③運動・読書

④今まで学校で勉強してきたのと違い、自分の体で働いてお金をもらうという流れがあるので、自分史上一番真面目にがんばっていると思います。でも、たしかに日々の仕事は大変だけど、辛くはありません。私は酪農がやりたくてここに来たので、天職だと感じています。朝早く起きて健康的だし、牛という経済動物を愛して仕事できるのはとても幸せだなあと 생각합니다。

⑤一番最初に感じるのは、空が広いなあという印象ですね。高いビルもないし、緑が多く空が広くて息苦しくありません。

都会とかにいくとビルしかなくて空がほんの少ししか見えなくて、息苦しくて嫌いでした。もちろん遊びに出かけて、楽しむことはあれど、住むのはここじゃない。と常々思っていました。

そんな私の理想が詰まっている町だと思っています。ここで二ヶ月弱生活して、ここに住む人の人柄に触れて、改めて温かくて土地も人の心も広大なところ、と感じました。

①エイン チュー ハン

②ミャンマー

③バドミントンスポーツ、読書、服を縫う、唄を歌うこと

④私は、太田牧場で働いているのが楽しいです。

家族経営なので、みんなで協力して仕事をし、早く慣れました。優しく、私が知らないことを教えてくれます。

みんなが家族のように感じられます。

⑤新得町の周りは畑と山がいつぱいあるので、自然的な所です。

働いて帰るとき、山を見たら気持ちいいので、疲れもなくなりました。そして人も少なく、静かで、住むのにとっても心地いいです。季節もいいので、新鮮な空気もあり、大好きです。

①サンダーリン

②ミャンマー

③サッカー、おどり

④農業について、家族も農家なので種を蒔くとか、稲を植えるとかをする経験があるけれども、日本の仕方と違うので、私のために大切な仕方を教えてもらいました。それに、酪農について

⑤私は新得にはじめてついたとき、町が自然たくさんで、景色がきれいなので楽しい気持ちになりました。

ました。それに、役場とスクールと牧場の人もみんなが優しく、家族のようにしてくれました。とてもうれしかったです。

みんなと会う時間が短いけれども、その瞬間の私の気持ちを忘れずに、いつも思い出しています。みんな、ほんとうに心からありがたいです。

①イコトウン

②ミャンマー

③バドミントンスポーツ、唄を歌うこと

④私は北広牧場で研修生として働くのが楽しいです。なぜかというと、みんな優しくして私が分からないことを分かりやすいようにゆつくりと教えてくれました。

それに、みんなが毎日笑顔で挨拶をします。また、搾乳しながら日本のことを教えてくれました。

⑤新得町はまわりに山がいつぱいあって、畑もたくさんあるのでとても綺麗で、絵を見るような感じがします。それに、夜に雪が降って朝日が出る時には、

山は銀のようにぴかぴかしていて、とても綺麗で、木にも雪が残っているのが綺麗です。また、新得では人があまりいないので、静かで新鮮な空気を呼吸する

ことができるのが住むのが良いです。広くて平らな畑は、新得町の綺麗なおとこです。

①ニンサンダーウイン

②ミャンマー

③旅行すること、

④ビニールハウスの中で野菜を植えるのははじめてだったので、面白かったです。トラクターの運転も教えてもらって、土を平らにしたのはとても楽しかったです。

⑤私は新得町へ四月四日に来ました。北海道は寒くてきれいだと聞いたことがありますが、新得町がこんなにきれいな町だとは思っていませんでした。

私が自然と動物に興味があり、鹿と白鳥も見え、とても面白かったです。

そして新得の人たちは、とてもやさしくて親しみやすかったです。日本人の温かさを知ることができて、嬉しかったです。研修が終わって他の所へ行って、新得町ことは私の心に残って、思い出しております。



- ① ライン ピョー カイン
- ② ミヤンマー
- ③ バスケッ トボール、スキー、山登り
- ④ 畑はとても広いです。機械もたくさんあるし、見たこともない機械もあります。植物を技術方法で生産しています。ミヤンマーにぜんぜんない技術もあります。新しい技術を教えてもらって感謝しています。
- ⑤ 畑と、長い木と、雪山がとても美しい景色で、絵みたいです。平らに作った畑は広くてきれいです。とても美しい景色なので写真を撮っても満足しないです。休みの日に私はスクールの屋上から景色をよく見えています。人も優しいし、親切にしてください。色々なことを教えてくれます。

- ① ニン ウィ ブー
 - ② ミヤンマー
 - ③ バドミントン、調理
 - ④ 農業実習はじめてやるので、全部の仕事は学ばなくてはならないです。農業の仕事は忙しいです。そして、とても大変です。でも、作物が元気に成長してくると見ると疲れが無くなるきもちになります。
 - ⑤ 私は四月の頭にはじめて新得町にきたとき、周りの山は茶色になっていた。雪がいつぱい積もっている山もありました。でも、いまは春になったので、だいたい山は緑になってきました。私たちは景色も二種類感じられました。そして、森の中に生活している鹿や狐もときどき見えるので、とてもおもしろかったです。
- 仕事をしても疲れているとき、周りにきれいに並んでいる緑の山を見て、疲れがなくなりました。
- 機会があれば、新得町でつづけて働きたいです。

未来を拓く協同組合 SDGsとJA

監修＝JCA（日本協同組合連携機構）



パートナーシップで目標を達成しよう

SDGs（エスディーゼイズ、持続可能な開発目標）が掲げる17の目標では、地球環境を守りながら、すべての人が尊厳をもって生きられる社会と、誰もが豊かな暮らしを継続的に営むことのできる経済の実現をめざしています。目標を実現するために欠かせないのが、パートナーシップです。目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」は、国同士だけでなく、自治体、団体、企業、個人等あらゆる段階でパートナーシップを緊密に結び、強力に動いていくことが求められます。

JAや生協等、日本の協同組合は国内外における協同組合間の協同に早くから取り組み、さまざまな課題解決に向けて活動を進めています。JAと生協が農業体験を行い、地域農業の維持・振興を図る事例や、協同組合間で職員の人材育成に取り組む事例もあります。また、地域農業の振興や地域の活性化等を目的に、JAは行政との連携協定の締結に積極的に取り組んでおり、協定数は2020年3月時点で計576協定にのぼります。



SDGsに関連する主な取り組み

年間を通じた農業体験（長野）

生産者と消費者が農作業を通じ、食の大切さを共に考えることをめざして、JAと生協が連携して農業体験を実施しています。JAが管理する畑で、生協の組合員や家族が年間を通じて農業体験をします。近年ではJA正組合員やその後継者、准組合員、役職員とその家族にも参加対象範囲を広げ、地域農業の維持・振興に寄与しています。



協同組合の職員の人材育成（兵庫）

兵庫県協同組合連絡協議会とコープこうべが共催でそれぞれの職員の人材育成を行っています。JAや生協等、協同組合の次世代を担う職員同士が顔の見える関係をつくり、地域の中で協同組合が果たすべき役割を共に考えるための研修を実施しています。参加者は現地調査やボランティア活動等に取り組み、報告会を行っています。



研修会
「虹の仲間づくりカレッジ」

JCAホームページ等から作成



耕そう、大地と地域の未来。

理事会の動き

第3回 5月22日開催

報告事項

- 第1 内部監査の報告について
- 第2 生前贈与にかかる債務保証残高について
- 第3 4月末畜産物取扱実績について
- 第4 その他

協議事項

- 第1号 令和2年度役員報酬額の配分決定について
- 第2号 総会における理事会一任事項について
- 第3号 行政庁に提出する業務報告書について
- 第4号 2020年度コンプライアンス・プログラムの制定について
- 第5号 固定資産の取得について
- 第6号 特定組合員担当理事について
- 第7号 持続可能な北海道農業の確立に関する組織討議の意見集約結果について
- 第8号 令和元年度北海道酪農体質強化対策費等（10月～3月分）の支払いについて
- 第9号 その他

第4回 6月29日開催

報告事項

- 第1 出資加入申込者について
- 第2 令和2年度第1・四半期主要勘定及び損益対比について
- 第3 内部監査の結果について
- 第4 余剰金の運用状況について
- 第5 マネロンに係るガイドラインに基づく「ギャップ分析結果」について
- 第6 JAバンク基本方針に基づく「JA財務モニタリング報告」について
- 第7 6月15日現在の農作物生育状況について
- 第8 令和元年度てん菜共同計算報告書について
- 第9 令和2年度小麦共同乾燥調製取扱い及び自主検定要領について
- 第10 小麦・豆類・馬鈴しょに係る要領の改訂について
- 第11 5月末畜産物取扱実績について
- 第12 その他

協議事項

- 第1号 令和2年度役員報酬額の配分決定について
- 第2号 令和2年度第1・四半期自己監査について
- 第3号 条例検査の改善報告について
- 第4号 令和2年度第2・四半期特定組合員理事巡回訪問について
- 第5号 第50回新得町家畜祭の開催について
- 第6号 固定資産の取得について

第5回 7月22日開催

報告事項

- 第1 出資加入・譲渡者について
- 第2 令和元年度（出資・事業分量配当）出資金積上げについて
- 第3 令和元年度各連合会の出資配当金について
- 第4 内部監査の結果について
- 第5 令和元年度年間経営定期点検実施報告について
- 第6 JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について

協議事項

- 第7 農作物生育状況（7月15日現在）について
- 第8 令和2年度農産物集荷計画について
- 第9 令和2年度農業経営基本状況について
- 第10 6月末畜産物取扱実績について
- 第11 株式会社シントクアユミルクの事業経過について
- 第12 新得町畜産公社預託状況について
- 第13 その他
- 第1号 2020年ディスクロージャー誌の開示について
- 第2号 農民運動会の対応について
- 第3号 令和2年度特定組合員（6月末）営農実績について
- 第4号 令和2年度肥料の取扱いについて
- 第5号 固定資産の取得について
- 第6号 その他

JAグループ通信

JA北海道中央会



JAグループ北海道は、農政情報をタイムリーに組合員や役職員の皆様知って頂くことを目的として、農政に関する専用サイト「JAグループ北海道農政NEWSウェブサイト」を開設いたしました。

本サイトでは、農政及び国際貿易交渉をめぐる現在の情勢やJAグループ北海道が行っている農政運動等のご報告、JAグループ北海道をより知って頂きたい情報などを随時更新する予定です。

サイトの更新情報については、JA北海道中央会公式LINEにてお知らせいたしますので、是非、アドレスおよび2次元バーコードにより追加願います。

●LINEアドレス: <https://lin.ee/zkY09op>

●2次元バーコード



●農政NEWSウェブサイトURL
<http://ja-dosanko.jp/nousei/>

JA北海道信連



現在、8月31日まで、『北海道農業応援！「記録に残したい」子どもフォトギャラリー』を実施しています。

お子様がご飯を食べた時の「美味しい笑顔の写真」や、一緒に調理をしている時の「楽しい笑顔の写真」を募集中です。

応募方法は、JAバンク北海道HPからバナーをクリックしてご確認下さい。応募いただいた写真や北海道農業への応援メッセージ（任意）は同HP上で後日公開させていただきます。



ホクレン



新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、牛肉の国内需要が不安定となる中、ホクレンは北海道産の黒毛和牛モモスライス、同バラ焼肉、乳用種肥育牛ロース焼肉のうち2種を組み合わせた「北海道産牛肉セット」3商品の販売をホクレングリーンネットショップで7月からスタートさせました。

北海道産牛肉の一般家庭での消費喚起に向けた取り組みで、PR活動などを通じ生産者の現状を知っていただくことも目的の一つにしています。



JAグループ北海道の連合会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA共済連北海道



JA共済連は、(公社)北海道交通安全推進委員会に『夏の交通安全運動』チラシ5万1千枚、ポスター9千2百枚・うちわ10万枚を寄贈しました。

「全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」令和元年度入賞作品が掲載されており、全道の市町村や警察署などで交通安全に役立たれます。

JA共済連では、今後も行政やJAと連携しながら交通事故の防止に向けた地域貢献活動を展開していきます。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



がんばれ!日本の農業

耕そう、大地と地域の未来。JAグループ <https://org.ja-group.jp/>



やばーやからのみねがい

新型コロナになんない うつすんでない!



はなれすいても
心はひとつ
のりこえよう

正しい情報で
冷静な判断を! NO! 感染者ハラスメント!

